

2024年度事業計画書

法人の名称 特定非営利活動法人 心魂プロジェクト

I 事業活動方針

コロナ禍を経て2023年度より本格的に対面の活動が再開。感染予防に非常に気を付けながら実施を続け、無事感染症を運ぶことなく年度を終える事が出来ましたが、オンライン事業にかかる経費に加え感染予防費が増え事業費を圧迫した事もあり、経済的にも苦しい2023年度でもありました。活動を継続・発展させていくと同時に財政状況の立て直しを行って参ります。

I、活動について

- 1, 全国の団体さまや熱い想いをもち活動している方々と強く繋がり協力しあう
- 2, 全国の方々等と定期的に繋がれる場としてオンライン事業を継続
- 3, 全国ツアーの拡大（北海道、青森、秋田、愛知、愛媛、高知、奈良、沖縄など）
- 4, 被災地支援の実施

II、財政の立て直し

- 1, コロナ禍で激減した収益事業を元の基準に戻し安定させる
- 2, オンライン事業継続等により増えた「固定費」を削減する
- 3, 新たな収益に繋がる事業の開発
- 4, 上記2, 3を実現する為に法人拠点施設を購入する

■ 具体的な計画

I、活動について

1, 全国の団体さまや熱い想いをもち活動している方々と強く繋がり協力しあう

2020年度より活動を行っているオンライン事業により新たな出会いと、定期的に繋がる場が生まれました。2023年度に行った対面の全国ツアーで、直接会い関係を深める事ができた事により絆が強くなりました。今後は、当法人が10年間に得た経験や知識を自分たちの法人のためだけに使うのではなく「難病児・障がい児・きょうだい児とご家族」に対して思いがあり、行動を起こす勇気のある方々と共に情報を共有し、より難病児たちがとりまく環境をよくしていく事に繋げて参ります。具体例)「小児病棟わくわく応援団」での活動、全国の病児に向かうパフォーマー連合を作る

2, 全国の方々等と定期的に繋がれる場としてオンライン事業を継続

コロナが終わりに向かい、対面活動が喜ばれる今日この頃ではありますが、オンラインでなければ実現しない事も多くありますので、引き続き活動を継続して参ります。今年度の課題は、全国ツアーで出会った方々にオンライン事業は「見る」だけでなく「繋がれる」「出会える」「経験できる」「成長できる」場である事を伝えるやり方をより改善していく事だと考えます。

3, 全国ツアーの拡大（北海道、青森、秋田、愛知、愛媛、高知、奈良、沖縄など）

TOOTH FAIRY さまの助成を受け全国5か所への公演が実現します。遠方の公演等の活動日を繋げる事で、交通費など必要経費を安く抑える事が可能となり比較的、安価で公演を実現する事ができるようになりました。今後も、双方に負担の少ない形での公演実現を模索し全国から頂く「心魂に来て欲しい」という願いを叶えていけるようにしていきます。

4, 被災地支援の実施

当法人としては、初めてとなる被災後1年以内に被災地へ伺う活動となります。助成事業として支援して頂く形も模索しながらも、今現在必要とされているニーズに素早く応えて行ける方法を模索していきます。「復興は全く進んでいない・・・」環境・経済に加え心への負担が大きくなり続ける被災地への活動を積極的に行っていきます。

II、財政の立て直し

1, コロナ禍で激減した収益事業を元の基準に戻し安定させる

「有料公演」は2024年5月の時点でコロナ前の状況にほぼ戻っています。
「一般有料公演」を、各公演130名以上の方に来ていただく事を目標に安定させて参ります。
「オリジナルグッズ」の販売についても、特に地方公演で喜ばれますので今日の思い出と持ち帰りたくなるような商品を増やし、収益増加を図りたいと考えます。
別途、事業収益ではありませんが「寄付金」を継続的にあつめる仕組み作りを改めて見直します。

2, オンライン事業継続等により増えた「固定費」を削減する

オンライン事業の収益に対し「オンラインシアター」の家賃が圧迫しております。
その他「事務所家賃」等も1つの場所に移す事で経費を削減する事を予定しております。

3, 新たな収益に繋がる事業の開発

パフォーマンスを学ぶ「講座」を合宿形式で行う。毎年ディズニーなどで行っている「遠足」を逆に来てもらい、宿泊してもらい「民泊」を実施する。家族の思い出、母親の休息のため、難病児・障がい児との研究、きょうだい児の安心できる場所作りなど多岐に渡り利用できる泊まれる施設を作る。宿泊費を頂き、活動資金の増益を図ります。

4, 上記2, 3を実現する為に法人拠点施設を購入する

融資を申請し、条件にあう中古物件を購入。必要であれば、予算内で修繕を行い可能な範囲で早めに稼働させたいと考えております。そうする事で、少なくとも毎月25万円の経費を浮かす事が可能となり、その予算で財政の立て直し及び、事業の開発を行います。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 公演活動事業

ア 病院・施設・難病、障がい者団体向け公演事業

- ・内容 対面及びオンラインで公演を実施
- ・日時 通年
- ・場所 日本全国及びオンライン（状況に応じて検討していく）
- ・従事者人員 約14人（ボランティア30名）
- ・受益対象者 日本全国、海外の患者、施設利用者
障がい者本人とそのご家族10000人（再生回数200000回）
- ・支出見込額 28,000,000円

イ 一般向け・学校向け公演事業

- ・内容 一般の方向けにミュージカルやライブ等の有料公演を行う
- ・日時 通年
- ・場所 日本全国及びオンライン（状況に応じて検討していく）
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 一般の方1000人
- ・支出見込額 500,000円

② ワークショップ事業

- ・内容 病氣と闘う子どもと家族、一般の方向け公演出演を目指したワークショップの開催
- ・日時 通年又は単発
- ・場所 対面&オンライン（ハイブリッド式）
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 病氣・障がいを持つ方とご家族、一般の方100人
- ・支出見込額 1,000,000円

③ 講演会事業

- ・内容 「表現をする事により笑顔を作り出す」事などを、講演会にて話す
- ・日時 通年
- ・場所 日本全国及びオンライン
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 医療従事者、医療関係者、教育関係者、一般の方1000人
- ・支出見込額 50,000円

④ 作品制作及び販売事業

- ・内 容 オリジナル作品を制作及びCDなどを製作し販売を行う
対面一般有料公演の復活に合わせ、新バージョンを作成
- ・日 時 通年
- ・場 所 日本全国、海外及びオンライン
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 病気・障がいを持つ方とご家族、一般の方 300人
- ・支出見込額 850,000円

⑤ 教育プログラム事業

- ・内 容 講座・学校などにおいて表現活動を通じたプログラムの展開
- ・日 時 通年
- ・場 所 日本全国、海外及びオンライン
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 医療関係者・会社社員・学校関係者など 500人
- ・支出見込額 2,500,000円